

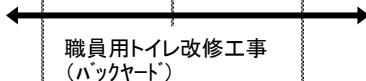
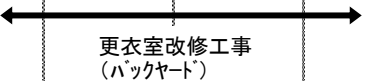
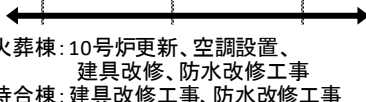
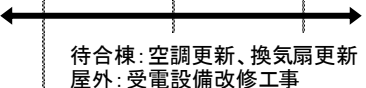
令和8年度第1回斎場運営協議会

協議事項

- (1) 施設整備に関すること
- (2) 運営における課題への対応
 - ① 斎場予約システム
 - ② 火葬需要増加対策
 - ③ その他

(1) 施設整備に関すること

斎場整備事業基本計画等に基づく整備内容及び対応予定

項 目	8年度	9年度
斎場整備事業基本計画 (火葬棟)	 職員用トイレ改修工事 (バックヤード)	 更衣室改修工事 (バックヤード)
利便性向上、老朽箇所の改修 (火葬棟、待合棟、屋外)	 火葬棟: 10号炉更新、空調設置、 建具改修、防水改修工事 待合棟: 建具改修工事、防水改修工事	 待合棟: 空調更新、換気扇更新 屋外: 受電設備改修工事

1 基本計画に基づく整備

- 令和8年度 火葬棟の職員用トイレの改修を実施します。
 - 令和9年度 火葬棟の職員用更衣室の改修を行う予定です。
- ※これらの完了により、基本計画で予定していた改修が完了します。

2 利便性向上、老朽箇所の改修（基本計画以外の整備）

- 令和8年度 10号炉更新、告別ホールと収骨ホールの空調新設、火葬棟と待合棟の老朽化した建具の改修、屋上の防水改修工事を実施します。
- 令和9年度 待合棟待合室の空調更新工事を行う予定です。
- 今後は法定点検と徹底した自主点検を継続し、その結果に基づき必要な改修を行います。

(1) 施設整備に関すること

報告: 建築基準法第12条に基づく点検の未実施

建築基準法では、市民の皆様にご利用いただく建築物について、同法12条に基づく点検を適正に行う必要があります。

本年度本市の全対象施設の確認を行った結果、斎場につきましては、以下の点検項目のうち、網掛けで示した「外壁全面打診調査」について、設置から現在に至るまで実施していないことが判明いたしました。

心からお詫びするとともに、今後は法令に基づく適正な点検等の実施を徹底してまいります。

なお、当該未実施項目については、本年度中の速やかな実施に向けて現在調整中です。

点検項目		点検周期	点検対象施設
建築物	建築物	3年以内	① 床面積の合計が 200㎡ を超える特殊建築物 ② 3階以上で床面積の合計が 100㎡を超え200㎡ 以下 の特殊建築物 ③ 3階以上で延床面積 200㎡ を超える事務所等 ※ ③については、令和5年法改正により、これまでの「5階以上で延床面積1,000㎡ を超える事務所等」から対象範囲を拡大
	外壁 全面打診調査	概ね 10～13年	①～③の建築物において、外壁がタイル、石貼り(乾式工法を除く)、モルタル塗などの仕上げ材の場合
建築設備	建築設備 防火設備 昇降機	1年以内	①～③の建築物に設置された建築設備等

(1) 施設整備に関すること

令和8年度実施スケジュール

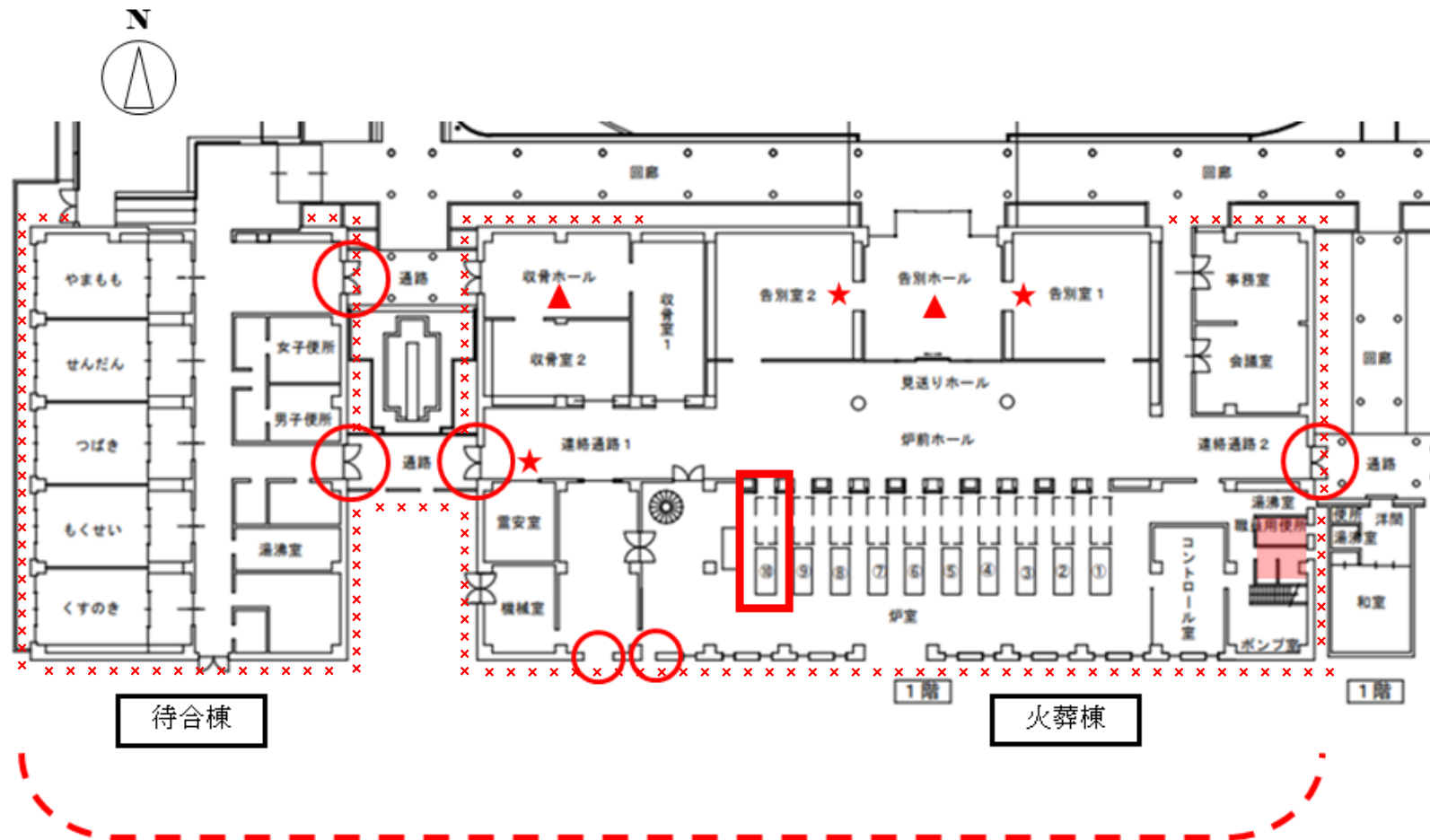
			設計期間: ◀-----▶									工期: ◀-----▶		
No.	工事名・委託業務名	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1	火葬炉整備工事						◀-----▶					◀-----▶		
2	10号火葬炉改修工事				◀-----▶					◀-----▶				
3	火葬棟空調設備設置工事				◊-----◊					◀-----▶		◀-----▶		
4	火葬棟・待合棟建具及びトイレ改修工事						◀-----▶					◀-----▶		
5	防水改修工事								◀-----▶		◀-----▶			
6	受電設備改修工事設計委託						◊-----◊							

【備 考】

- 実施時期について
天候や工事の進捗状況等により、実施時期が前後する場合があります。
- 施設利用への影響と安全確保について
利用者の安全確保のため、工事の内容に応じて、一部箇所の利用制限や迂回路の確保を適宜行います。
- 工事実施に係る情報周知
ご遺族、会葬者および関係団体の皆様に対しては、看板の掲出や予約システム、斎場ホームページ等を通じて、事前の周知を行います。

(1) 施設整備に関すること

斎場建物平面図



【凡例】		10号炉改修（更新及び排風機能強化）
	▲	火葬棟空調設備設置
	○★	各所建具改修
		職員用トイレの男女別化改修
	- - -	防水改修
	x x	足場組立

(2) 運営における課題への対応

① 斎場予約システム

1 斎場予約システム稼働後の状況

- ・令和7年3月1日より、斎場予約システム（以下「システム」という。）を稼働しております。
- ・システムの稼働に伴い、葬祭業者の皆様には、いつでも予約状況をご確認いただき、直接ご入力のうち予約を取っていただくことが可能となりました。
- ・これにより、漢字の聞き取り間違いやご予約の行き違い等のトラブルを未然に防ぎ、スムーズな予約手続きと斎場運営に繋がっております。

2 令和6年度・令和7年度実施のアンケート結果

- ・システム利用者を対象としたアンケート調査を実施しました。
- ・その結果、「市外予約の表示追加」を求める改善要望が多数寄せられました。
- ・利用満足度につきましては、令和6年度の67.6%に対し、令和7年度は83.9%となり、16.3ポイント向上しております。

3 アンケートに寄せられたご意見・ご感想

- ・システム化されて予約状況がすぐにわかるので良かった。
- ・火葬枠の取り間違いや漢字等の聞き間違いが防げるので良い。
- ・アンブター（手術肢体）の患者名を記載するカテゴリーが故人名となっている。直した方がよい。（対応済み）
- ・市外枠の受け入れが可能なのか、もう埋まっているのかわかるようにしてほしい。
- ・予約システムを利用して火葬終了時刻や収骨時間がわかればありがたい。
- ・霊安室の空き状況、もしくは利用状況が予約システムでわかるようになれば良いと思う。

4 今後の対応

- ・システム改善に関するご要望については、委託業者へ改修の可否や内容を確認し、実現に向けた調整を行ってまいります。
※特に要望の多かった『市外予約枠の可視化』など、利便性向上のための改修を優先的に検討いたします。
- ・今後も継続的にアンケートを実施して利用者の皆様のご意見を伺い、課題の把握とシステムの改善に努めてまいります。

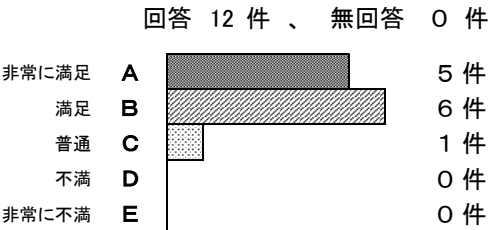
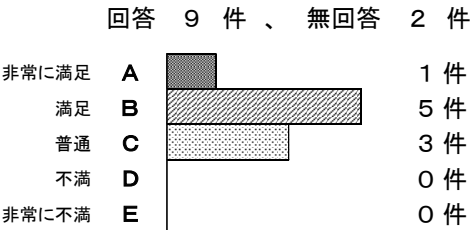
(2) 運営における課題への対応

アンケート集計結果

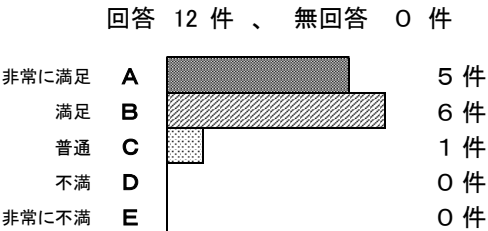
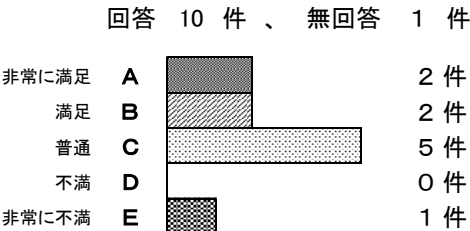
令和6年度（実施時期：令和7年3月・全 11 件）

令和7年度（実施時期：令和8年3月・全 12 件）

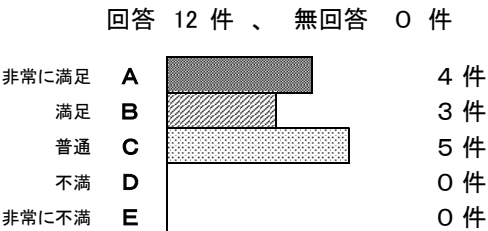
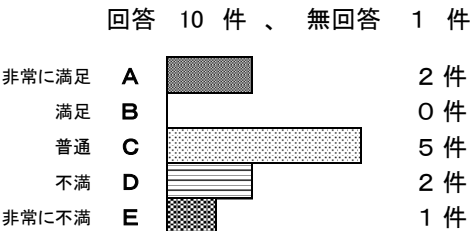
①システムの導入は、従前の予約方法と比べて良くなりましたか(利便性)



②システムの使いやすさ(操作性)



③画面の配置・展開等の見やすさ(視認性)



利用満足度 点数換算

段階	点数	件数	小計
A	100	5	500
B	80	7	560
C	60	13	780
D	40	2	80
E	20	2	40
合計		29	1,960

平均 67.6 %

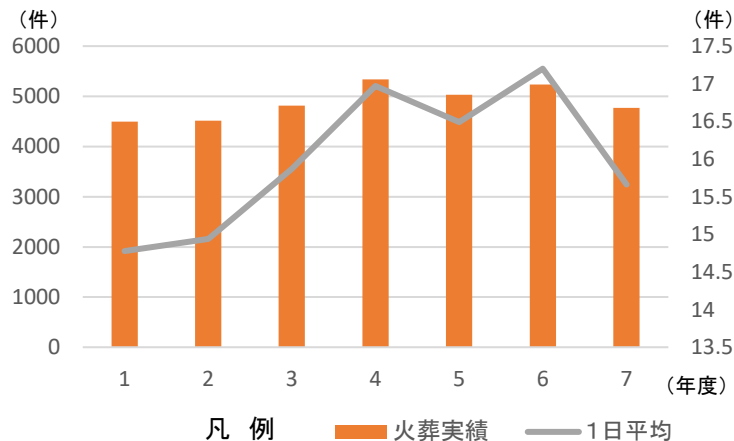
段階	点数	件数	小計
A	100	14	1,400
B	80	15	1,200
C	60	7	420
D	40	0	0
E	20	0	0
合計		36	3,020

平均 83.9 %

(2) 運営における課題への対応

② 火葬需要増加対策

1 近年の火葬件数の推移（胞衣炉を除く）



年度	火葬実績	1日平均
令和元	4,493	14.78
2	4,513	14.94
3	4,809	15.87
4	5,330	16.97
5	5,028	16.49
6	5,229	17.20
7	4,763	15.66

R6→R7
約9%の減

【火葬待ちとは】

予約受付日から5日以内に火葬予約ができなかったケースをいいます。

2 「火葬待ち」発生状況（R6年度、R7年度）

令和6年度

予約受付日から火葬日までの日数 (単位: 件)

	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日
12月	36	136	230	67	13	2	2	1
1月	16	42	116	168	140	28	4	0
2月	22	39	101	186	104	33	5	1
3月	30	141	175	105	17	7	1	0

6日以上経過件数の割合
1月**6.2%**、2月**7.9%**

令和7年度

予約受付日から火葬日までの日数 (単位: 件)

	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日
12月	88	162	131	57	10	2	2	0
1月	68	125	127	86	28	5	2	2
2月	89	119	106	62	10	3	1	0
3月	65	134	119	51	8	6	1	0

6日以上経過件数の割合
1月**2.0%**、2月**1.0%**

- 令和7年度は、火葬件数全体の減少や、4日間の「友引開場」を実施した効果等により、「火葬待ち」の件数は減少いたしました。
- 今後の火葬需要の増加を見据え、引き続き、次ページ以降に記載する対策を進めてまいります。

(2) 運営における課題への対応

① 友引開場

- ・地域の慣習により、令和4年度までは友引の火葬は行わない運用を行っておりました。
- ・令和7年度までの試験的な開場において一定の成果が得られたことを踏まえ、令和8年度においても引き続き友引開場の実施を検討してまいります。

友引試験開場実績

令和5年度

日 付	火葬件数	宗教者の 同行数	斎場職員数 (うち事務職1)
R6/1/9(火)	1	0	4

令和6年度

開場実績なし

令和7年度

日 付	火葬件数	宗教者の 同行数	斎場職員数 (うち事務職1)
R7/12/29(月)	5	1	6
R8/1/4(日)	10	4	6
R8/1/27(火)	5	0	5
R8/2/14(土)	4	1	4

令和8年度の実施(案)

【友引開場日】 (案)

- 令和8年12月30日(水)
- 令和9年1月5日(火)
- 令和9年1月28日(木)
- 令和9年2月14日(日)

※選定日は、関係団体との意見交換を経て、令和8年秋頃に決定し、斎場予約システムや市ホームページ等により、市民や関係団体に周知していきます。

② 市内火葬の優先

- ・令和6年度までは、年末年始の約1週間前後は、市外利用の受入れを1日3件までと規制をしていました。
- ・令和7年度は、12/29から2/28までの期間、市外利用の受入れを1日2件までと規制を強化しました。
- ・これまでの結果を踏まえて、令和8年度は前年度同様に市外火葬規制の実施を検討しています。

令和8年度の実施(案)

【市外火葬規制期間】 (案)

- 令和8年12月29日(火)～令和9年2月28日(日)
- 上の期間 市外火葬を一日最大2件までとする。

(2) 運営における課題への対応

③ 1日最大24件火葬体制の整備

- ・令和7年度は新たな火葬体制の準備を進め、令和8年1月下旬から3月末まで、1日最大24件の運用を開始しました。
- ・体制整備として、火葬技能員の1名増員、火葬設備の増強、予約システムの改修を行いました。
- ・運用開始後、滞りなく円滑な火葬運営ができています。
- ・今後も需要が集中する冬期（12月～3月）は24件体制を継続し、火葬需要の増加への対応と火葬待ち解消を図ります。

④ 10号火葬炉の更新及び供用開始

- ・体格の大きなご遺体（男性100kg、女性80kg以上）の火葬では、通常よりも排ガスが多く発生することから、誘引排風機（排気筒）を2～3基稼働させる必要があり、隣の炉の排風機を併用することから、隣の炉を停止する（使用不可とする）運用としています。
- ・この稼働制限が、火葬件数の集中する冬期においては、火葬待ち長期化の原因の一つとなっています。
- ・前段「（1）施設整備に関すること」で説明した10号火葬炉の更新により、こうした体格の大きなご遺体への対応が改善され、1日最大24件の火葬体制がより安定的・継続的に運用できるようになります。

令和8年度の実施(案)

- 令和8年12月～令和9年3月（冬期）まで、1日最大24件火葬を実施する。

体格の大きなご遺体の火葬件数 令和6年度

月	火葬件数	体格の大きなご遺体の火葬件数	使用不可とした火葬炉 (単位:基数)
12月	483	4	5
1月	549	7	9
2月	481	3	4
3月	479	8	14

令和8年度の対応予定

- 令和8年12月の供用開始を目指していきます。

(2) 運営における課題への対応

③ その他

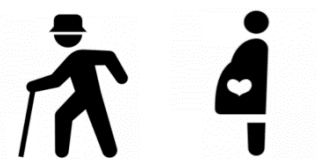
1 利用者のご要望への対応（椅子席の増設）

(ア) 背景・課題

現在、待合室（全5室）はすべて和室仕様ですが、そのうち2室（くすのき、もくせい）には椅子とテーブルを設置しています。ここ数年、ご利用いただいた方や葬祭業者様から、「負担の少ない椅子席を利用したい」というお声をいただいております。

(イ) 今後の運用について

皆様に安心してゆっくりと過ごしていただけるよう、すべての待合室を椅子席とするレイアウト変更を考えております。



2 高知市斎場業務継続計画（斎場BCP）

(ア) 策定の目的

本市では、近い将来、南海トラフ地震が高い確率で発生することが危惧されています。また、同地震をはじめとする大規模災害や、火災、風水害等により建物等に被害が及んだ場合、斎場施設や設備の機能低下により、業務に重大な支障が生じる恐れがあります。

このため、会葬者や職員の安全確保を最優先とした上で、平時に整備すべき内容や災害発生時の行動指針を定め、災害という制約下においても斎場の業務機能の維持・確保を図ることを目的として、策定しています。

(イ) 策定、改定の経過

平成29年10月に策定をし、令和2年10月に改定を行っています。

(ウ) 改定

前回改定から年月を経ていますので、改めて内容の確認と関係者との訓練を踏まえて、今年度の改定を予定しています。

具体的には、広域火葬訓練（11月予定）、火葬運転保守業者との訓練と情報共有をし（適宜実施）、令和9年1月の改定を目指してまいります。